

重訂
遺記
結末

物残査又ビ心窩部劇痛ヲ來セリ同日朝八時珈琲残
査様物ヲ嘔吐シ顔色蒼白貧血性顔貌憔悴シ斷記現症
ヲ呈スルヲ以テ二月四日入院セシム

右者生來筋骨發育稍々薄弱ニシテ十四才時胸膜炎ヲ約
六ヶ月十八才時慢性胃炎ニテ約六ヶ月間醫療ヲ受ケル事
實アリ入營時實施セル細密身體検査ニ於テハ何等異常
ヲ認メザリシモ前記既往症ニ鑑ミ要保育兵トシテ漸進的訓
練並兵業ノ負担輕減ニ著意シ保育ニ努メアリン處ナリ本病
發生ノ原因ハ本業基本教育期間僅少ナリシ爲勢ヒ訓練
ハ激烈トナリ將來對米軍戰鬥ヲ顧慮シテ屢々夜間訓練
ヲ實施シ本業基本教育終了スルヤ直ニ古年次兵ト互ニテ
對立對峙警戒勤務又陣地構築作業ニ從事スル等繁
教ナル諸勤務ニ服シ漸次疲勞ヲ蓄積スルニ至リタルモノニシテ此
間給養休養ハ主食以外ニ於テ貧弱ナル現地物資ニ依存
スルノ止ムナキ狀況ニ在リ且被服補給ナキ爲夏季用被服ヲ使

重訂
遺記
結末

用シヤリ寢具ニ於テモ各人毛布ニ被ニテ居住施設ナキ國民學校
校ヲ利用シヤリテ之等ハ入隊ニ伴ヒ衣食住ニ於テ特ニ神戶縣出
身者ニトリテハ生活様式ノ教養ヲ來シタルモノニシテ前記敘務ト
給養休養ト共ニ調和ヲ缺クニ至リ遂ニ本病ヲ誘發スルに至
リタルモノナリ

五經

過

昭和十九年十月十五日獨立歩兵第三大隊二隊同ヨリ本業教
育中一月廿四日夕食後一時間心窩部ニ劇痛ヲ訴ヘ其際
左肩ニ放射アリ鎮痛劑ニ依リ輕快セルモ爾來毎食後又ビ体
動時心窩部ニ劇痛ヲ來シ發氣嘈雜アリ同日二十三時ヨリ入
室加療中ナルモ輕快ノ徵ナク二月一日部隊移駐ノ爲自動貨
車ニ依リ(知念村→南添村伊祖)車送セル處嘔吐(吐物ハ食物
残渣)又ビ心窩部劇痛ヲ來セリ同日四時八時珈琲殘
様物ヲ嘔吐シ顔色蒼白貧血性顔貌憔悴シ斷記現症ヲ呈

重訂
遺記
結末

スルヲ以テ二月四日第六十二師團野戰病院仲間患者齋藤養光
ニ入院ス 當時體格中等度 栄養衰へ 羸瘦甚シク體
動不能 癩癧憔悴 舌蒼白色 貧血性ニテ一見重馬ナル感シテ
與へ不安ヲ呈ス 舌ハ舌苔ヲ被リ乾燥ス 口唇ガアークトシ
脈搏細數ニシテ微弱 緊張悪ク一三至 體温正常以下ニシテ
三五五度呼吸ハ促進 在性トナリ 胸廓型ニテ三五回ハ音ハ
尋常ハ音不純ニシテ弱ク 胎生調律若肩胛下部短調ヲ呈
スル他 著衰ナシ

腹部所見

患者ハ名状スバカサナル劇痛ヲ上腹部ニ感ゼシ時 鎮痛劑モ
ヒ夜四五ノ注射シタルモ奏効セザリキ状態ニアリシト云テ現在ハ今
迄ノ苦痛ヲ忘レタカノ如キ爽快ナリシト云テ肩胛骨部ニ放射スル
疼痛アリ 自發痛ハ主トシテハ高部左右季肋部 壓痛ノ所在
略々白壓痛ノ場所ニ相當ス 腹部ハ腹筋特ニ直腹筋ノ板
硬結ヲ呈シ 健畫ガ明瞭ニ現ハル此ハ為腹部ハ稍々陷没ヲ呈

シ居ル肝濁音界ハ消失ス 腹筋ノ緊張ヲ避クル為屈曲位ヲ取
ル 迴盲部異常ナシ 直腸ヨリノ觸診ニドクダニ腔ハ異常
ナシ 下肢異常ナシ 白血球數非常ナル増加ヲ示シニハワロフ算
セリ 右ノ所見ニ依リ胃潰瘍穿孔ノ診斷ノモトニ直チニ手術ヲ
施行セントスルモ患者ノ手術迄ニ經過セル時間又ニ概状態ヨ
リ見テ豫後不良ト認メ直チニ病症増進ノ報ヲ發セントス 第一
報下六時零分手術準備中患者ノ一搬状態不良ナルヲ以テ
手術ニ先立チワロフ算ニ依リ液五ワロフ算ニ依リ皮下注射セサ
且輸血ノ必要ヲ認メ白隊兵員ヨリO型給血者ヲ選定シ輸血
一五ワロフ算ニ依リ給血者陸軍衛生上等兵 大村光太郎

手術所見

術式 穿孔部縫合 麻酔局所麻酔強ハボカイン液七ワロ
正中線切開ニ依リ開腔スルヤ腐敗瓦斯ヲ生ジ特有ノ臭氣ヲ
發スルト共ニ膿性渗出液多量ニ排出ス 胃ノ穿孔如何ヲ探究

スルニ遊門ノ貫ニ小鷲側ノ前壁ニ三粒ノモ即ケ小豆大ノ穿孔口ニ
公該部ヨリ胃内容液流出ス依テ直ケニコバロ縫合シ乾燥成
菌カレゾクテ腹腔内膿汁ヲ吸收スルモ充分ナル除去ニ有
拭シ得ズ一部縫合トコニ排膿管ニ本挿入シ充分ナル排膿ヲ
測リ手術ヲ終ル所要時間一時間十分ニテ患者ノ全身状態
不良トナリタル爲ニコバロ液ニリンゲル代液五〇〇〇ヲ皮下注射
コルヲシ液ニコバロ液ニ注射輸血一五〇〇ヲ實施シ經過觀察
セリ給血者陸軍衛生二等兵谷口一義 右所見ニ依リ病名
ヲ胃潰瘍兼急性汎發性腹膜炎(昭和三年二月四日)ト決定
シ寧心看護ニ努メタリニ七時十分ニ至リ術後ノ疲勞衰弱
ニ依リ全身状態甚クシテ侵サレ顔貌極衰シ不安現ハル四肢
已ニ冷却シ冷汗流出ス舌乾燥口喝甚クシテ脈搏細數微
弱ニシテ一三五回 聲量小シク呼吸ハ胸式ニシテ淺表増加シ四
回体温上昇シ三八五度鼓腸ヲ呈シ腹部ヲ聽診スルニ鼓トシテ
音ナシ心音微弱ニシテ不純トシテ依テニ七時十分病症危篤
トシテ

八字挿入
字林消

醫

第二報ヲ發セリコバロ液五〇〇靜脈内注射コバロ液一〇皮下
注射一〇〇食塩水五〇〇注射腸一〇〇食塩水二〇〇靜脈内注射シ極
カ心カ保持ニ努ムルモ奏効セズ益々悪化ノ傾向ニアリ全身所見
益々侵サレ絶ヘズ嘔氣ヲ訴ヘ不快ナル吃逆ヲ發ス昏睡ニ陥リ脈
搏殆トシテ觸レ難シ鼻翼呼吸ニ如ヘテ「キキキ」トシテ呼吸現
ハル心臓穿刺ニ依リコバロ液三〇注入コバロ液一〇皮下
注射スルモ四肢ニ痲冷益々強ク爪床「チアイ」現ハレ口唇「チアイ」
ト腫孔散大肛門括約筋弛緩シ開ク又聽診上心音聴取
シ得ズ看護ニ努メシ其申斐ナク遂ニ同日一上時十分死矣
依テ死亡第三報一報ヲ發ス

大死亡年月日 昭和三年二月四日二上時十分
死亡場所 中繩縣中頭郡浦添村字仲間第六十三師團
野戰病院仲間患者療養所

右ノ通ニ候也

昭和二十年二月四日
第六十二師團野戰病院仲間患者療養所長 蓮江哲夫 

付	部	任	主	官	副	級	高	長	謀	參	長	團
												

46

事實現	病歷書	證明書	死亡書	給與金證明書	所屬部隊	在別	官	氏名
六					独立第一大隊	内還	上	中川孝麿

石師副人恩第元五號
恩賞關係書類送付件通牒
昭和二十年三月九日 第六十二師團司令部
歩兵第百十九聯隊補充隊 御中
左記者ニ對スル首題ノ件別紙通送付ス

左記

師長	參謀長	高級副官	主任	部	付
○	○	○	○	○	○

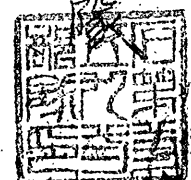
4

大									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

昭和廿二年三月廿五日 第六十二師團司令部
 恩賞關係證書送付件通牒
 石第一八八二部隊御中
 首題一件左記ノ通り送付ノ不
 左記

恩賞關係證書送付件通牒

昭和廿二年三月廿七日 石第一八八二部隊



師長	參謀長	高級副官	主任	部	付
○	○	○	○	○	○

現職	留學	所在地	官階	氏名
○	○	○	○	○
七部	少佐	福井縣敦賀郡	大	中川 幸磨
○	○	○	○	○

石第一八八二部隊御中
 首題一件左記ノ通り送付ノ不
 左記

